

## 第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画 キャッチフレーズ（案）

## 多様な人材が未来へつなぐ 豊かなみやぎの食と農

人口減少や高齢化が進む中で、農業を地域経済を支える産業として維持・発展させるため、農業・農村への消費者の理解と協力のもとに、農業者だけではなく、次世代の若者も含め、食と農に関わる全ての人材が結びつき、活躍することで、安定した農業生産と経営、農村が持つ機能の発揮を将来にわたって確保していくことを基本計画で目指す将来像として掲げる。

## ○多様な人材

農業者，地域住民，食産業（他産業）関係者，関係人口など

## ○未来へつなぐ

安定した農業生産と経営，農村が持つ機能の発揮を将来にわたって確保していく

## ○豊かな

米や園芸，畜産などの生産を可能にする技術や生産基盤，農村の文化・景観などの資源や，大規模法人や家族農業，半農半Xなどの多様な農，安定した農業経営，農業者の生産に対する誇りなど

## 【参考】他に挙げられた候補

## 共創力強化 ～ひと・もの・ちえを総動員した豊かな食・農づくり～

## ○共創力強化

産業・地域・組織・人材間の連携や，ひと・もの・ちえを組み合わせることにより，新たな価値を創造する力を強化し，時代の変化に対応した社会構造や産業構造をつくること。

## ○ひと

食と農に関わる人材や組織，産業のこと。

（消費者，農業者，障害者，技能実習生，地域住民，移住者，関係人口，食産業・流通業・卸売業・小売業・観光業等，JA，市町村，県（他県含む），国，世界等）

## ○もの

地域内外にある資源や機会のこと。

（農地，水利施設，農畜産物，水産物，林産物，ジビエ，日本酒，ワイン，食文化，多面的機能，田園風景，道の駅，大消費地仙台，国内外マーケット，祭り，イベント，楽天・ベガルタ・89ers，各種施策（行政だけでなく，企業等の取組含む）等）

## ○ちえ

新たな価値を創造する技術や発想のこと。（スマート農業，Society5.0，次世代放射光，SDGs，ビジネスマッチング，プラットフォーム，CSA（地域支援型農業），田園回帰，付加価値，ブランド化，健康志向，日本食ブーム，インバウンド等）

## ○豊かな食・農づくり

時代のニーズに対応した豊かな食を消費者に届けるとともに，持続可能な儲かる農業を展開し，にぎわいのある価値ある農村を形成すること。